

Alibaba Cloud

日志服务#

価格

Document Version20191017

目次

1 課金方法.....	1
2 コストの最適化.....	7
3 課金に関する FAQ.....	8

1 課金方法

Log Service は、リソースの使用量に応じて月単位で課金されます。**LogShipper** は無料です。保存や分析のためにログデータを無料で **MaxCompute** や **Object Storage Service (OSS)** に送信することができます。このドキュメントには、課金方法、引き落とし方法、例が記載されています。

課金方法

説明

- ・ 課金サイクルは **1** 日です。請求書は毎日送付され、その日のリソース使用量に基づいて課金されます。
- ・ 無料枠のサイクルは **1** か月です。残ったクォータは月末にクリアされます。リソース使用量が無料枠を超えない場合、料金は徴収されません。無料枠を超えた場合、超過分が課金されます。
- ・ **JPY 0.01** 未満の課金項目は、請求書から除外されます。

次の表にリソースの課金項目と単価を示します。

課金項目	意味	価格	無料枠 (1 か月あたり)	例
読み取り書き込みトラフィック	読み取りと書き込みトラフィックは、圧縮ログを送信するためのトラフィックに基づいて計算されます。 SDK/Logtail モードの場合、ログは自動的に圧縮されますが、 API モードでは手動で圧縮する必要があります。通常、ログは 5 から 10 倍に圧縮されます。	JPY 5.18/GB	500 MB	オリジナルログのサイズが 10 GB で、圧縮後のログのサイズが 1.5 GB の場合、 1.5 GB として課金されます。

課金項目	意味	価格	無料枠 (1 か月あたり)	例
ストレージ容量	ストレージ容量は、圧縮後のデータサイズとインデックスのデータサイズの合計です。	JPY 0.34/GB /日	500 MB	データサイズは 1 GB /日です。圧縮後のデータサイズは 200 MB です。データの 10% がインデックスに使用されます (サイズは 100 MB)。30 日間の保存期間後、累積最大ストレージサイズは 30 x (100 + 200) = 9 GB です。ストレージの最大料金は、1日あたり 0.34 x 9 = JPY 3.06 です。

課金項目	意味	価格	無料枠 (1 か月あたり)	例
インデックストラフィック	・ インデックストラフィックは、実際のインデックスフィールドに基づいて計算されます。ストレージ料は、書き込み時に全額徴収されます。 ・ FullText インデックスと KeyValue インデックスの両方を持つフィールドのトラフィックは、一度だけ計算されます。 ・ インデックスはストレージ容量を占有するため、ストレージ料が徴収されます。	JPY 10.07/GB	500 MB	たとえば、 10 GB のログのうち 10 % のフィールドを照会する必要がある場合、フィールドの照会に使用されるトラフィックのみが課金されます。インデックストラフィック料金は、 JPY 10.07 です。
その他の課金項目 (リソースの不適切な使用を回避するため、次の課金項目の料金はデフォルトで低く設定されています)				

課金項目	意味	価格	無料枠 (1 か月あたり)	例
アクティブシャードレンタル	ステータスが読み取り書き込みのシャードのみがカウントされます。結合/分割されたシャードのレンタル料は徴収されません。	JPY 1.15/日	31/日	たとえば、3つのシャードのうちの1つが読み取り書き込みステータスとします。他の2つのシャードは結合され、読み取り専用ステータスです。1つのシャードに対してのみレンタル料 (1.15 JPY/日) が徴収されます。
読み取り/書き込み回数	Log Service へのログの書き込み回数は、ログの生成速度に依存します。バックグラウンド実装メカニズムにより、可能な限り読み取り/書き込み回数を最小にします。	JPY 3.45/100 万回	1,000,000 回	Logtail を使用して自動バッチ送信が可能です。100万回の書き込み操作に対して、合計 JPY 3.45 が徴収されます。
インターネット読み取りトラフィック	Log Service で収集されたログデータをインターネットプログラムが読み取る際に生成されるデータトラフィック。	JPY 23.0/GB	なし。	2 GB のデータを Log Service から Alibaba Cloud 以外のプロダクトに送信する場合、インターネット読み取りトラフィック料は JPY 46 です。

引き落としと支払い

- ・ 通常、請求書は現在の課金サイクルが終了してから 4 時間以内に提供されます。お客様の口座から自動的に請求額が引き落とされます。残高が不足している場合、滞納状態になります。
- ・ 24 時間以内に期限切れの請求書に対する支払いが行われなかった場合、サービスは自動的に停止します。ただし、ストレージ容量の使用に対して引き続き課金されるため、滞納額は増加

します。サービスの停止によるビジネス上の損失を避けるため、期限の過ぎた請求書に対して **24 時間以内**に支払いを行うことを推奨します。

- ・ サービスの停止から **6 日以内**に期限切れの請求書に対する支払いが行われると、サービスは自動的に復元されます。それ以外の場合、**Alibaba Cloud** は、お客様がサービスの使用停止を選択したものと見なし、プロジェクトスペースは回収され、その中のデータはクリアされます。このデータを復元することはできません。

例

ケース 1：無料枠

3 つのサーバーがあり、そのうち **1** つのサーバーが **1** 日に **5 MB** のログを生成します。プログラムを使用して、次のようにログを処理するとします。

1. ログをリアルタイムで照会し、オンラインで運用・保守 (**O&M**) するためのダッシュボードを作成する。
2. **Java** プログラムを使用して、リアルタイムでログ処理にサブスクライブする。
3. ログを **OSS** に送信する。

課金詳細：

- ・ リソース：**1** 日に **1** つの **Logstore** (**1** つのシャード) が作成されます。**1** か月に作成される **Logstore** (**1** つのシャード) は合計 **31** で、無料枠を超えません。
- ・ 読み取り書き込みトラフィック：**1** 日の読み取り書き込みトラフィックは、**15/5** (圧縮後のデータ) * **2** (読み取り + 書き込み) = **6 MB** (圧縮後) です。**1** か月の累積読み取り書き込みトラフィックは **6 * 31 (日) = 183 MB** で、無料枠を超えません。
- ・ インデックストラフィック：**15** (オリジナルデータ) * **31 (日) = 465 MB** で、無料枠を超えません。
- ・ 読み取り/書き込み回数：**1** か月の読み取り/書き込み回数は **100** 万回未満で、無料枠を超えません。

Log Service を使用して、毎月無料でオンラインログ分析と処理を行うことができます。

ケース 2：リアルタイムコンピューティング + オフラインコンピューティング (Lambda アーキテクチャ)

Web サイトでは、**1** 日あたり **1** 億件の **API** リクエストがあります。**1** 件のリクエストで **200** バイトのログが生成され、**1** 日に生成されるログのサイズは **20 GB** です。ピークトラフィックは、平均トラフィックの **5** 倍、**1.16 MB/s** (**5 Mb/s** 未満) です。ログは、リアルタイムコンピューティング (ライフサイクルは **2** 日間) 用に **1** 日 **1** 回読み取られ、オフラインコンピューティング (**Hive/Spark**) 用に **OSS** にインポートされます。

課金詳細:

- ・ アクティブシャードレンタル：1 つのシャードが予約されています。料金は **JPY 1.15/日** です。
- ・ 読み取り/書き込み回数：Logtail を使用して自動バッチ送信を行い、100 万回の書き込み操作に対して合計 **JPY 3.45** が徴収されます。
- ・ 読み取り書き込みトラフィック
 - 書き込みトラフィックは **20 GB** です。圧縮率が **10%** の場合、実際のトラフィックは **2 GB** で、料金は $2 * 5.18 = \text{JPY } 10.36$ です。
 - リアルタイムコンピューティングでの読み取りトラフィックは、書き込みトラフィックと同じで、**JPY 10.36** です。
- ・ ストレージ容量：ストレージサイズは $2 \text{ GB} * 2 (\text{日}) = 4 \text{ GB}$ です。1 日あたりのストレージ料は、 $4 * 0.34 = \text{JPY } 1.36$ です。
- ・ OSSへのログのインポートは無料です。

ケース 3：オンラインでのログのクエリと分析

このサービスでは、1 日あたり 100 万件の API アクセスリクエストがあります。1 件のリクエストで 200 バイトのログが生成され、1 日に生成されるログのサイズは 200 MB です。過去 30 日間のログがクエリ用に保存されています。

課金詳細:

- ・ アクティブシャードレンタル：1 つのシャードが予約されています。料金は **JPY 1.15/日** です。
- ・ 読み取り/書き込み回数：Logtail を使用して自動バッチ送信を行い、100 万回の書き込み操作に対して合計 **JPY 3.45** が徴収されます。
- ・ 読み取り書き込みトラフィック：書き込みトラフィックは **200 MB** です。圧縮後のデータサイズは **0.05 GB** です。1 日あたりの読み取り書き込みトラフィック料は、 $0.05 * 5.18 = \text{JPY } 0.259$ です。
- ・ インデックストラフィック：1 日あたりのインデックス料は $0.2 * 10.07 = \text{JPY } 2.014$ です。
- ・ ストレージ容量：200 MB + 50 MB (圧縮後のオリジナルデータ) = 250 MB。ストレージのピークサイズは $250 * 30 = 7.5 \text{ GB}$ です。1 日あたりのストレージ料は $7.5 * 0.34 = \text{JPY } 2.55$ です。

2 コストの最適化

コストは 2 つの要素に関連しています。

- ・ データ量。データ量はビジネスニーズによって決まり、最適化することはできません。
- ・ 構成。構成を最適化することができます。データ量と一致する構成では、コストを最小限に抑える最適なソリューションを選択できます。

設定を最適化する

設定は、次の 2 つの方法で最適化できます。

- ・ シャードの数

1 つの シャードの価格は 1 日 CNY 0.04 で、最大データ処理能力は 5 Mbit / s です。読取り/書込みアクセスのシャードのみが請求されます。各シャードが 5 Mbit / s でデータを正確に処理できるように、シャードの数を調整することができます。シャードの数を減らすには、シャードを統合します。

- ・ インデックスのストレージサイクル

ログクエリとストレージのニーズに基づいて、インデックスの格納時間を最適化することを推奨します。

- ストリームコンピューティングのログを収集する場合は、インデックスを作成せずに **LogHub** を使用することを推奨します。
- ログの長期保存とバックアップが必要な場合は、**OSS Shipper** を設定し、ログを **OSS** にインポートすることを推奨します。

その他の最適化の推奨事項

- ・ **Logtail** の使用：バッチ処理とブレイクポイントの機能により、データを最適なアルゴリズムで転送しながら、優れたリアルタイムパフォーマンスを実現できます。**Logtail**は オープンソースソフトウェア (**Logstash** や **FluentD** など) の 3/4 以下のリソースを消費し、CPU 使用率を低減します。
- ・ **API** を使用してログに書き込むために大きなパッケージ (64 KB~1 MB) を使用して、リクエスト数を減らしてください。
- ・ 必要のないフィールドではなく、キーフィールド (**UserID** や **Action** など) のインデックスのみを実行します。

3 課金に関する FAQ

FAQ リスト

1. [Log Service](#) が原因でアカウントに滞納料金がある場合、どうすればよいですか。
2. プロジェクトと [LogStore](#) を作成しただけです。課金が発生するのはなぜですか。
3. [Log Service](#) を無効化する方法を教えてください。

1. Log Service が原因でアカウントに滞納料金がある場合、どうすればよいですか。

Log Service では、リソースの使用後に課金が発生します。請求書は毎日作成され、料金は自動的に引き落とされます。請求書には、前日に使用したリソースの一覧が表示されます。滞納料金が 24 時間以内に支払われない場合、**Log Service** は自動的に停止します。ただし、使用中のストレージスペースに対して、引き続き課金が発生するため、滞納料金は増加します。サービス停止による業務上の損失を避けるため、24 時間以内に滞納料金を支払うことを推奨します。滞納料金を支払った後、**Log Service** の使用を継続できます。

2. プロジェクトと LogStore を作成しただけです。課金が発生するのはなぜですか。

プロジェクトと **Logstore** を作成した場合、リソースを予約するためのシャードがデフォルトで作成されます。**Logstore** の作成時に表示されるページに記載されているように、**Log Service** では、シャードに対してごくわずかなリソース予約料が発生します。現在の課金ポリシーでは、1 つのシャードの無料クォータは 31 日です。2 つのシャードを作成した場合、15 日後に課金が発生します。シャードが不要になった場合、プロジェクトと **Logstore** を削除できます。リソースを削除すると、翌日に **Log Service** のリソース使用量の請求書が送付され、3 日目以降にプロジェクト請求書が送付されなくなります。

請求項目の詳細は、「[課金方法](#)」をご参照ください。

3. Log Service を無効化する方法を教えてください。

Log Service が不要になった場合、アカウント内のすべてのプロジェクトを削除できます。この場合、**Log Service** は無効になり、翌日から課金されなくなります。アカウントに滞納料金がある場合、支払いを完了してからプロジェクトを削除します。アカウントに **Log Service** のサービスやリソースが存在しない場合は、翌日から **Log Service** の請求書が送付されなくなります。